

初代理事長 岡村さんを追悼して

社会福祉法人すこう福祉会
ワークハウスわらしべ
管理者 神田 幸江

すこう福祉会 初代理事長・現名誉理事長 岡村軍治さんが7月23日（日）にご逝去されました。享年75歳でした。

岡村さんは、「障害の仲間たちの働く場を」とわらしべ作業所の仲間たちと長年にわたり運動を行ってきました。

仲間たちへの所得保障という思いが強く、社会福祉法人を立ち上げ、「働く場」を作ること为目标に、募金活動、資金集めをし、平成16年にすこう福祉会を法人化し、翌年、「ワークハウスわらしべ」を開設されました。

障害の仲間たちへの想いを強く持ちながら、多くは語らず、行動力のある方でした。今、わらしべで行っている「とうふ製造」と「入浴支援」は岡村さんの強い思いから始まっています。

とうふ製造は衛生面の心配から反対の声が上がった時、「これからの障害者施設は、付加価値のある自主製品も作らなければ所得保障ができない」とおっしゃり、豆腐製造経験のある方を職員として採用し、信州産大豆と天然にがりを使った手造りの長者とうふができたのです。

また入浴支援は当時、作業所に通っていた仲間たちのご自宅での様子を見て、家族の介護軽減をしたいと、特殊浴槽の設置と当時は珍しいリフト浴の設置をし、入浴サービスを希望する方が須高地区以外からも利用しています。

とうふ製造も、入浴支援も、現在はわらしべの大きな柱です。

わらしべ開所の半年後、岡村さんは病気に襲われ、その後リハビリ、再発を繰り返し、8年前からは仲間の一員としてわらしべに通い、病気でありながらも働くことの大切さを教えてくれました。「働く場」のことだけでなく、生活の場、親亡き後の仲間たちのことなど、たくさんの思いがある方でした。

岡村さんの訃報に、私たちは大きな悲しみと、これまでの貢献に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。

心より、ご冥福をお祈り申し上げます。

なお、すこう福祉会では仲間、職員ほか関係者の皆様と岡村さんを偲び、追悼する会を予定しています。改めて、日程を提示いたします。